



11/15 25周年の記念のまつり 新そばまつり

そば道場駐車場で、「新そばまつり」が開催され、今年収穫された「新そば」を堪能しようと村内外から多くの来場者で賑わいました。

今年は、そば道場開館25周年の記念の年となり、まつりの始まりには、来場者に向け市原副村長ら関係者による300個の祝い餅とそば饅頭投げが行われました。

ステージでは、子ども6キロ、女性8キロ、男性18キロのそば殻が入った袋を持ち上げる「そば殻力自慢大会」や、「そば大食い大会」などが行われ、25周年にちなみ、「ありがとう」、「感謝」をテーマにした「そば川柳」に、50組が応募。まつりの終わりに発表されました。



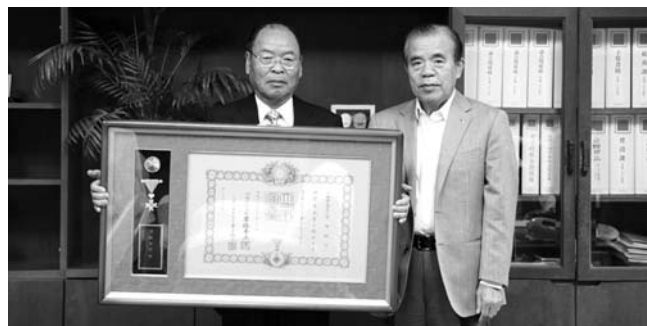
祝い餅とそば饅頭投げで賑わうまつり会場

11/13 電力事業に長年の貢献 宮崎敏治さん（下野）

秋の勲章・褒章伝達式が11月11日に東京都で行われ、本村の宮崎敏治さん（下野）が瑞宝単光章を受章され、その報告のため久木野庁舎の長野村長を訪られました。

宮崎さんは、昭和42年に九州電力株式会社へ入社。その後、永年にわたり電力事業に貢献されたことが認められての受章となりました。さらに、宮崎さんは旧長陽村交通指導員や立野地区防犯警ら隊、平成11年から23年までの12年間下野区長を務められました。

受章された宮崎さんは、「受章後、この章の偉大さを感じています。今後もできるだけボランティアや地域社会に貢献したい」と喜びを語られました。



瑞宝単光章を受章された宮崎さん（左）と長野村長

12/2 農業経営の安定と地域の活性化に期待 「農事組合法人 南阿蘇くぎの」設立総会

「農事組合法人 南阿蘇くぎの」の設立総会が、久木野庁舎で組合員のほか、市原副村長、秋吉鶴美阿蘇地域振興局農林副部長など関係者が出席して開催されました。

これは、高齢化による河陰（岸野堀渡）地区の農業の担い手不足が懸念されることや、米価格下落に伴う収益の減収による機械の過剰投資を避け、経営の安定と地域コミュニティによる活性化を目指すことを目的に設立されたものです。

代表の今村武博さん（第八駐在）が、「自分たちの農地は自分たちで守るという新たな決意を持ち、組合員の皆さんと一丸となり組合を盛り上げていきたい」とあいさつされました。



設立総会に出席された関係者の皆さん

11/27 工事完成後の農地活用へ 弁差川土捨場工事安全祈願祭

立野地内で、立野ダム建設に伴う弁差川土捨場工事の安全祈願祭が、立野ダム工事事務所の宮成秀一郎所長をはじめ、多くの関係者が出席して行われました。ダム事業は、白川流域の洪水被害を防ぐことを目的とし、立野ダム工事事務所が昭和58年度に着手。弁差川土捨場工事は、ダム建設に伴う発生土砂約19万 m³の土捨場として活用し、基盤整備を行います。神事の終わりに受益者を代表し、山内博史（新所）委員長より、「これまでに長い時間を要しましたが、この事業は地元先輩方のご尽力の賜物であり、基盤整備で新たな農地が生まれる事に期待を持っています」と熱い想いを述べられました。



工事の無事を祈願する関係者の皆さん